

# 乳児看護トレーニング用モデル

日本語

## 構成内容

本製品の構成内容は、モデル本体に加え、次のものから成ります。

### モデルパーツ：

男性生殖器付き腹部カバー、女性生殖器付き腹部カバー各1  
臀部、及び大腿部用注射パッド各1

臍帯

肺、心臓、胃

腸

膀胱

### アクセサリー：

注射器

吸引用カテーテル

栄養チューブ

導尿用カテーテル

採尿バッグ

挿管用潤滑剤

キャリングケース



## 概要

乳児看護トレーニング用モデルは、小児看護の専門家達との密接な協力の下に開発されました。この本物そっくりのモデルは病気または健康な乳児の様々な状態の説明および看護実習に適しています。大きさと体重は実際の乳児のそれと呼応しています。交換可能な腹部カバーには男性生殖器付きのものや女性生殖器付きのものが用意され、男女両方の看護実習ができるようになっています。首、肩、胸部、股、膝はそれぞれ関節を有し、動かすことができます。また、頭部の皮膚は柔らかく、触診により泉門を確認できます。高品質素材を使用し、お手入れ簡単かつ耐久性にも優れています。

## 組み立て

お届け時、乳児看護トレーニング用モデルは組み立てられた状態で専用キャリングバッグに入っています。もし分解の必要がある場合は、腕と脚をそれぞれ肩関節および股関節の部分で取り外すことができます。胴体部は両脇のスクリューを緩めることにより上下に分割することができます。また、頭部はボールジョイントにより下の体と結合しているので、取り外す際は慎重に引き抜くようにして下さい。首の中を通る3本のチューブは胃と肺への連結を外してから、頭部を引っ張ることにより外すことができます。再組み立ての際は、まずマジックテープを緩めて腹部カバーごと取り外してから、腸をめくるように慎重に腹腔から引き出し、その下にある膀胱を取り出します。そして別の腹部カバーをこれと逆の手順で設置します。



## お手入れ

乳児看護トレーニング用モデルはお手入れが簡単な合成樹脂で作られています。洗浄には刺激の少ない石鹸水を使用してください。油分やシンナーなどを含む薬品は絶対に使用しないでください。洗浄後、各パーツに残った水分は自然乾燥によりよく乾かします。モデルにマーキングなどを行う場合は鉛筆以外のものを用いないで下さい。肩、首、股関節のスムーズな動きを維持するために、時々ボールジョイントにワセリンを塗布すると効果的です。頭部の動きを容易にするために、肺と胃につながる連結チューブは漏水防止式になっていませんので、口や鼻から液体を注入しないでください。

# 乳児看護トレーニング用モデル

日本語

## 乳児看護トレーニング用モデルを用いた実習例

### A. 基本介護

#### 1. 抱く、運ぶ、横たえる

このモデルは重さも本物の乳児に近く、主な関節が自然な動きを示すため、抱き上げる、運ぶ、寝かせる（仰向け、うつ伏せ、横向き）などの練習を実際に行うことができます。首の関節は左右の回転と前後の屈伸を可能にします。抱き上げる時は頭を適切に支えてあげないと、自然と頭は後に倒れてしまいます。



#### 2. 着せ替え

着せ替えに必要な動きや手順を容易に学ぶことができます。着せ替えには標準的な乳児用の衣服を用いることもできます。

#### 3. オムツの交換

乳児サイズの使い捨てオムツまたは布製オムツの一般的なテクニックを学べます。ベビーオイル、クリーム、パウダーなどは使用しないで下さい。

#### 4. 授乳

母乳による授乳や哺乳瓶による授乳時の適切な体位の練習ができます。実際の液体や食料などは使用しないでください。モデルの口は標準的な大きさの哺乳瓶の乳首にフィットするようになっています。

#### 5. 清拭、目・耳・鼻のケア

全身の清拭の練習を行う際は、湿った布をよくしぼってお使いください。口、目、耳、の洗浄にはガーゼのパッドもしくは綿棒をお使いください。また、鼻の洗浄には綿棒もしくは乳児用のスポイトなどをお使い頂けます。清拭/洗浄の実習後は、モデルをよく乾かしてから保管してください。この乳児看護トレーニング用モデルは多量の水分を用いた実習には適していません。沐浴などの実習を行うには、別途「沐浴ベビーケアモデル（品番：P31）」をお求めください。

#### 6. 臍帯（へその緒）のケア

乳児看護トレーニング用モデルには乳児のへその緒に関する実習ができるように、着脱可能なへその緒が付属しています。

### B. 小児科の看護実習

#### 1. 鼻咽喉の吸引

鼻腔からの吸引実習を行う際は、8フレンチの吸引用カテーテルをご使用ください。大きいほうのカテーテルは口からの吸引に用います。

#### 2. チューブによる栄養補給

チューブによる栄養補給の実習には、8フレンチのチューブをモデルの鼻腔から挿入します。チューブ挿入時にはシリコンスプレーで、チューブの滑りをよくするようにしてください。栄養補給の実習時には実際の液体や食物がモデル内に入らないようにして下さい。

#### 3. 投薬

スプーン、ピペット、投薬用乳首などを使っての投薬実習を行うことができます。



# 乳児看護トレーニング用モデル

日本語

## 4. 気管カニューレの挿入

乳児看護トレーニング用モデルの喉内には気管切開部があり、そこから内径3mmの気管カニューレを挿入することができます。挿入したカニューレはえりまき状の首の皮膚により固定することができます。カニューレに通す吸引用カテーテルは8フレンチのものをお使いください。

## 5. 筋肉注射と皮下注射

筋肉注射と皮下注射の練習を左大腿部に接地されたパッドで行うことができます。更に、筋肉注射の練習用のパッドが左臀部の上側にも備えられています。注射パッドはとても柔らかく、伸縮性があり、実際と同様の針を用いた筋肉注射と皮下注射の練習ができるようになっています。衛生上、パッド内に液体は注入しないで下さい。



## 6. 採尿

尿サンプル収集の練習として、標準的な採尿バッグを男性生殖器部と女性生殖器部のいずれにも装着することができます。

## 7. 導尿カテーテル

8フレンチの導尿用カテーテルを男女どちらの尿道口部からも挿入することができます。膀胱にはあらかじめ水を満たしておくことができます。カテーテルの潤滑剤としては水溶性のジェルまたはシリコンスプレーが適当です。実習後、膀胱内に残った水は、保管前に必ずよくしぼり出してください。膀胱を尿道から取り外す際は、灰色の結合バルブの先端部をつかんで引っ張るようにします。

## 8. 直腸検温

乳児看護トレーニング用モデルの肛門には、一般的な直腸検温用の体温計またはモニタ接続型の温度ゾンデを挿入することができます。潤滑剤には、ワセリンなどは避け、水溶性のものだけをお使いください。

## 9. 浣腸

8フレンチの直腸チューブを肛門に挿入できます。浣腸の練習のために、付属の腸はその内部に約100mlの水を溜めることができます。腸にたまった水を捨てる時は、腹部カバーを外してから、腸を肛門部の結合バルブから外します。そして腸上部のキャップを外して水を吐き出します。



# 乳児看護トレーニング用モデル

日本語

## 主な仕様

身長	53cm
体重	2.8kg
頭のまわり	34cm
膀胱の容量	25ml
腸の容量	100ml

## 各実習に必要なアクセサリ

乳児用の衣服、0～3ヶ月用  
使い捨てオムツ、0～6ヶ月用  
乳児用の哺乳乳首、0～6ヶ月用  
標準的な直腸用体温計  
採尿バッグ  
水溶性のジェルまたはシリコンスプレー

注射針、10、16、20ゲージ  
栄養チューブ、8フレンチ  
吸引用カテーテル、8フレンチ  
導尿用カテーテル、8フレンチ  
直腸チューブ、8フレンチ  
気管カニューレ、内径3mm

## 交換部品

XP201 注射用パッド（大腿部用と臀部用、各1個ずつが含まれます。）

万が一お届けの製品に問題などがございましたら、モデル内部（背中の内壁）に書かれたシリアル番号と合わせて販売店までご連絡ください。